

がんばろう 南三陸町 復興第6号

南三陸マイタウン情報

発行所
マイタウン企画
本吉郡南三陸町志津川字沼田 150-84
TEL (46) 3069
後援:
志津川広報センター



多くの期待を胸に 大震災から羽ばたく!

志津川高等学校卒業式

「東日本大震災」から一年目を迎えるとして、平成24年3月1日宮城県志津川高等学校の「平成23年度卒業証書授与式」が開催された。

情報ビジネス科第14回卒業生の30名、普通科64回卒業生の107名、合計男子68名女子69名の合計137名が、三年間共に過ごした学舎から巣立った。3.11以後の大震災大津波を経験し、強く逞しく成長した「志高生」が南三陸町ふるさと再建の「復興元年」の一期生として社会・進学の道に進む。3年4組の一人が今回被災し亡くなった。同級生の遺影を胸に、喜びの中に悲しみを抱いての卒業式となった。



厳粛な式典にも凛として

「卒業証書授与」では、情報ビジネスの1組では佐々木あさみさんが第543号として代表を務め、普通科では2組高橋悠里さんが第8752号、3組藤野裕梨さんが第8796号、4組は大瀧直也さんが第8810号の志高卒業生となり各代表を務め、日下毅学校長が一人一人の代表に「おめでとう」と祝福の言葉を送っていた。

学校長式辞では、「3月11日の東日本大震災を語らずにはいられなく、学校も町も総ての環境が大きく変わってしまった。登米市の登米・上沼の二高で一時的な学習が一ヶ月遅れながら始まり、夏休み明けから志高での授業がスタートした。」



三年生に感謝の演奏会

志高音楽部

志津川高校卒業式からまだ間もない3月4日、志高第2体育館において、志高音楽部の「第34回定期演奏会」が開催された。

午後1時30分からの開演には、志高の第1期、第2期の仮設から、「お世話になっています。」「志高音楽部の皆さんの声がけもあり、来ました。」と、来場される方や志高体育館に一次二次の避難されていた多くの町民の方も、生徒の演奏を聴きに集まった。

プログラムの第1部では皆さんが知っている楽曲を披露し、第2部では、本格的なクラシックのナンバーを紹介した。第3部では、被災者に元気を出してもらおうと曲目を並べ、「共に復興に頑張りましょう」という、メッセージのように感じた。2年生の新学期菅原さんを中心に、部員は3年生を含め13名がいる。3人の顧問の先生と一緒に

と被災後の経過をふり返った。卒業生には3つの事が人生の糧となると伝えた。1つは「生活を過ごして学び続ける」、2つ目は「共生社会の担い手に」、3つ目に「人との出会いを大切にすること」、この事を常に意識して欲しいと話した。むすびに「社会は皆さんの活躍を期待している」と語った。

在校生代表の菅原ゆうきさんの「送辞」では、「私たちの見本だった。全員で練習が

できない中で活躍された」。この被災した現実の中で3年生の姿が「今まで以上に頼もしく見えた」と、先輩たちの力強い精神力を感じた。様々なパフォーマンスでは「自分に何が大切なかを教えてくれ」、学校で大きく成長することができた。先輩たちの姿に「さらに良い学校に発展するよう努力します。」と、志高魂の伝統を引き継ぐことを誓った。

「答辞」では3年3組の佐藤ちひろさんが、「志津川高校を旅立ちます」と述べ、寂しさといふから大きな期待でみちあふれていると語った。3.11では深い悲しみを感じ「日常の生活がどんなに良かったかを知った」、また「日々の生活には友の姿があった」と3年間の学校生活を振り返った。先生方へは「友だちのように、時には厳しく指導してくれた」と語り、家族には「日々の学校生活は家族がいたから」と最後に「ありがとうございました」と結んだ。

今回の23年度の志高卒業式は、卒業生にとっても御家族、そして学校にとっても想像を絶する苦難の連続があった。3.11の大津波の襲来での避難者の救護、そして多くの肉親や町民の死への直面など、町民は志高生への感謝の思いを語り、新しい町づくりの担い手として期待をしている。



多くの成長の思い出と共に!

に3.11の震災後、バラバラになりながらも、練習を重ねてきた成果をこの日発表した。部長は「私たちの演奏で先輩を送り出したかった。」と、志中の竜谷大学との合同演奏会をキャンセルして定期演奏会に臨んだ。

菅原部長の挨拶では、「保護者の皆様、地域の皆様、多くの支援をくれた方に厚く御礼を申し上げます。演奏会ができる事が大変嬉しい」と話し、現在は1年、2年の9名で活動しているという。4月には多くの新入生の入部を期待している。



部員が心を込めて演奏

平成22年度は6月26日に定期演奏会を開催しているが、23年度は、この日の開催となった。

3.11からの被災後は日本フィル・東京交響楽団・明成高校など多くの音楽支援をいただいた。また全日本吹奏コンクール(小編成の部)本吉大会では金賞を、県大会では銅賞に輝いた。

日曜日の一時、志高音楽部の演奏会に集まった皆さんの耳には、軽快なりズムが「復興への足音」のように聞こえた事と思う。



ポスターデザイン
部員の高見莉央さん



卒業式ができる事に感謝!

志中91名の巣立ち

第65回志津川中学校卒業式が3月10日開催された。3.11の「東日本大震災」の発生以後、志中は、校舎・体育館が避難場所となり、自衛隊の集結場所として校庭が活用され、武道館も支援物資の倉庫として最後まで使用された。また、多くの支援活動の場として学校が利用され、「福興市」「コンサート」などの、町民の元気をとりもどすイベントに、志津川中学校生徒会も全員参加で協力し、今回の卒業式を迎えた。

卒業証書授与では、1組の阿部君(第11418号)から3組杉田君(第11508号)まで、3クラス91名一人一人に菅原貞芳校長が、「おめでとう」の言葉を添え卒業証書を手渡した。

菅原校長の「式辞」では、第一声に「第65回の卒業式ができる事に感謝!」と述べ、生徒2人に1人が自宅を流されたことを伝え、復興・復興のスタートが始まった。被災後は沖縄県など全国から多くの支援を受け、5月の始業式を行った。9月まで体育館は使用できなかったものの岡山県など各地の交流活動を行った。「私たちの元気な



菅原校長が「おめでとう」の言葉を添えた

食事処 **たけや** 志高第二期仮設下 (駐車場有り)

「たけやの味」 営業してまいります
また御宮味下さい

お待ちしています 南三陸町志津川字廻館203-3
電話 0226-46-4235

パソコン経験者
従業員募集

千葉印刷 戸倉営業所
問い合わせ▶ (0226) 46-8690